

〔AiSEG3に登録する〕

注) ● AiSEG3と住宅用火災警報器(親器)はなるべく近づけて登録してください。

- 住宅用火災警報器(親器)をAiSEG3へ登録する前に、住宅用火災警報器の親器・子器それぞれで設置場所名称を登録することをおすすめします。登録すると、住宅用火災警報器側で設定した設置場所名称がAiSEG3に反映されます。設置場所名称の登録については、住宅用火災警報器の説明書を参照してください。
- 住宅用火災警報器(親器)や他の特小無線機器をAiSEG3に登録し、AiSEG3と各機器間で電波が到達していることを必ず確認してから、設置してください。また、住宅用火災警報器の親器と子器も電波が到達していることを確認してください。
- 他の特小無線機器の登録については、AiSEG3に付属の設定マニュアルを参照してください。
- AiSEG3の周波数チャンネルを変更した場合は、住宅用火災警報器(親器)の再登録が必要です。

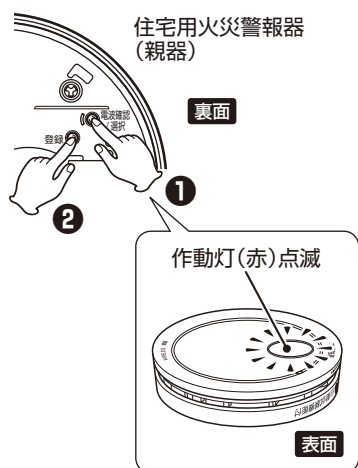
1 AiSEG3を登録待機状態にする。(特小無線機器登録)

注) AiSEG3の登録待機状態は約5分間です。5分以上経過すると、自動的に登録待機状態を終了します。

- 特小無線機器登録方法は、設定マニュアルを参照してください。

2 住宅用火災警報器(親器)の電波確認/選択ボタンを押しながら3秒以内に登録ボタンを押す

- 住宅用火災警報器(親器)が「ピッピッ、設置場所登録モードです。〇〇が登録されています。」(〇〇:設置場所名称)と鳴ります。
- 住宅用火災警報器(親器)の作動灯が点滅します。



- 注) ● 設置場所登録モードになれば、電波確認/選択ボタンから指を離してください。
- 何も操作しない状態が約1分間続くと、「ピッピッ、設定モードを終了します。」と鳴り、待機状態に戻ります。

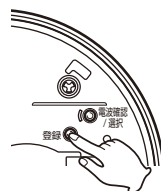
3 再度、住宅用火災警報器(親器)の電波確認/選択ボタンを押しながら3秒以内に登録ボタンを押す

- 住宅用火災警報器(親器)が「ピッピッ、機器登録モードです。」と鳴ります。



4 住宅用火災警報器(親器)の登録ボタンを押す

- 住宅用火災警報器(親器)が「ピッ」と鳴り、AiSEG3への登録が行われます。
- 登録が完了すると、住宅用火災警報器(親器)が「ピッ、登録しました。」と鳴り、待機状態に戻ります。
- 登録に失敗したときは、AiSEG3から「ピッピッピッ」と鳴り、エラー画面が表示されます。住宅用火災警報器(親器)からは「ピッ、登録できません。設定モードを終了します。」と鳴り、待機状態に戻ります。
- 設定モードを終了すると、作動灯は消灯します。



注) 「ピッ、登録しました。」や「ピッ、登録できません。」が鳴るまでに約20秒(電波環境によっては最大約40秒)ほどかかります。メッセージが鳴るまで、電池は抜かないでください。電池を抜くと、登録できません。

5 登録操作が終われば「登録完了」を選ぶ

- AiSEG3が「ピッ」と鳴り、特小無線機器設定画面に戻ります。
- 住宅用火災警報器(親器)に子器を登録する場合は、住宅用火災警報器(親器)の説明書を参照して登録してください。
- 続けて電波到達確認を行ってください。電波到達確認の方法は、「AiSEG3と住宅用火災警報器(AiSEG連携機能付)との連携操作について」をご確認ください。



■ 登録できない場合は以下を確認し、再度登録操作を行ってください。

- ➡ AiSEG3と住宅用火災警報器(親器)が離れすぎていませんか?
 - なるべく近づけてください。
- ➡ 機器間に金属や鉄筋コンクリートなどの電波を通しにくい障壁がありませんか?
 - 障壁を避けてください。
- ➡ 電子レンジやパソコンなどの家庭用電気製品やOA機器が近くにありませんか?
 - 遠ざけてください。
- ➡ 近くで携帯電話やPHS電話などを使用していないですか?
 - 使用をやめてください。
- ➡ 手順4の操作から約40秒経過しても何も鳴りませんでしたか?
 - 住宅用火災警報器(親器)の電池コネクタを一度、抜き差ししてください。